

製品名: ERG (10X14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10587**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	ERG
別名	ERG;erg-3;p55;KCNH2;
遺伝子 ID	2078.0
SwissProt ID	P11308
免疫原	ヒト ERG の合成ペプチド

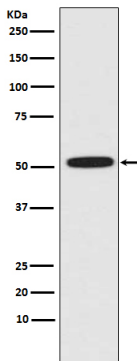
背景

この遺伝子は、赤芽球形質転換特異的 (ETS) 転写因子ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーはすべて、胚発生、細胞増殖、分化、血管新生、炎症、およびアポトーシスの重要な調節因子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は主に核内で発現します。ETS DNA 結合ドメインと、キメラがんタンパク質の自己会合に関与する PNT (尖端) ドメインを含みます。転写調節因子であり、SETDB1 ヒストンメチルトランスフェラーゼのリクルートメントとそれに続く局所的なクロマチン構造の改変を介して転写制御に関与している可能性があります。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の ERG 発現のウェスタンブロット分析。